

コロナ禍のなかでなぜ高齢者の負担増なのか 75歳以上高齢者医療費2倍化強行に抗議する

緊急事態宣言の延長が出され、国民の暮らしが逼迫するなかで、75歳以上高齢者の医療費2倍化法案が可決・成立した。衆議院の審議同様に参議院での法案の審議もわずかひと月。変異株のコロナ感染拡大が国民の脅威になり、国民の命をどう守るのか、その対策について集中すべき時になぜ高齢者の命を危険にさらす法案採決なのか。今回の採決の強行に全く道理もなく強く抗議する。

法案審議では、再三にわたり受診抑制による健康への悪影響が問題になったが、菅首相は「直ちに患者の健康への影響を意味しない」と述べ、科学的根拠もない無責任な答弁をし、政府は何ら明確な根拠もないまま「年収200万円以上」の世帯は、必要な医療を受けるには支障がないとことを答弁するだけであった。

今回の法案では、「2割化」の対象となる所得ラインが国会の審議なく今後政令で変更できてしまう点も大きな問題なのだが、マスコミ報道もなく全く国民に法案の危険性が知らされないまま審議を短期で終了し可決するやり方に大きな不安を感じる。本法案だけでなく、最近の国会では、十分な審議もされないまま、国民の命と暮らし、そして日本の将来に関わる法案が次々採択されていくことは議会制民主主義を蔑ろにするものであり、こうした国会運営に強く抗議する。

今年は秋までに必ず総選挙がある。新型コロナウイルス感染から国民の命と暮らしを守る政治に転換することを真剣に考えなければならない。大阪府保険医協会は今後も、医療・福祉・介護の充実のため地域から改善要求を粘り強く追及していくとともに、高齢者医療費2倍化を実施させない活動を進める決意である。

2021年6月5日
大阪府保険医協会
理事長 高本英司